

令和3年度の事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 うすき竹宵

1 事業の成果

全世界に蔓延している新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために様々な祭典、行事、イベントが中止または開催規模の縮小となった。当法人が関係するさまざまなイベント等も同様の状況であった。

令和3年11月6日、7日に「うすき竹宵」は開催したが、会場は八坂神社周辺の竹の灯りのみとし、般若姫行列や諸イベントは中止するなど大幅に規模を縮小した。例年、開催に伴い市内の企業に協賛金のお願いをしていたが、こちらは協賛件数、金額とも減少、減額して目標を立てたうえでお願いをした。これらの協賛金と行政からの補助金とを合わせてろうそく等の購入資金に充てた。また、開催時間中に小さな花火大会が地元企業の手で行われて、賑わいに花が添えられた。「竹宵」はコロナ禍で外出できずに不自由していた市民にとって待望している行事だった。

次に白杵祇園祭に関してであるが、昨年同様祭礼初日と最終日には疫病退散祈願祭が本宮で執り行われ、通常行われている御神幸（神輿行列）は行われなかった。祇園祭には昔から伝わるしきたりや所作があり、将来に伝えるためには複数年にわたり実施しないことが続けば、従来型の継承では不安をもってしまう。

また、今年も例年同様、中央通り商店街とは毎月の催事（第一土曜日開催）である「幟市」への実施に協力した。例年に比べれば人の動きが少なく、商店街イベントとしては寂しかった。夏に行う「夜市」は感染症の拡大予防のため中止となった。2022年の5月に明治期に「三菱の大番頭」として活躍した白杵出身の荘田平五郎翁の没100年にあたる。商店街としても記念の継承イベントの準備が始まった。

当法人事務所前ではこれまで同様、平日の日中に「ふじがわち直販所」の農産物直売をおこなう売り場スペースを提供しているが、対象者は主に市内在住の特にご近所に住む人たちが多く、市外からの観光客は激減した。そのうえ、ご近所に住んでいた常連の高齢者たちの姿も一人減り、二人減りといった感じで鬼籍に入ったり、施設に入るようになって、益々人口減少と高齢化が進む。

2 事業の実施も関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従業者人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:千円)
うすき竹宵支援 (竹宵支援)	実行委員会支援	(A) 通年 (B) 臼杵市内 (C) 100	(D) 市民及び観光客 (E) 不特定多数	100
うすきの案内 (まちづくり)	町並み案内	(A) 通年 (B) 臼杵市内 (C) 10	(D) 市民及び観光客 (E) 50人	0
まちづくり支援 (まちづくり)	祇園祭への支援事業	(A) 6月から7月 (B) 臼杵市内 (C) 33	(D) 市民及び観光客 (E) 不特定多数	50
まちづくり支援 (まちづくり)	商店街催し物支援事業	(A) 通年 (B) 臼杵市内 (C) 65	(D) 市民及び観光客 (E) 不特定多数	50
町なか賑わい創出	農産物直売所	(A) 通年(約300日) (B) 事務所前 (C) 175	(D) 市民及び観光客 (E) 不特定多数	150

(2) その他の事業

実施しなかった

令和3年度活動計算書

特定非営利活動法人 うすき竹宵

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位 円)

科 目	金額		
I 経常収益 1 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費		330,000	
2 受取寄付金 受取寄付金 施設等受入評価益			
3 受取助成金等 受取民間助成金		0	
4 事業収益 うすき竹宵事業収益			
5 その他収益 受取利息 雑収益			
経常収益計			330,000
II 経常費用 1 事業費 (1) 人件費 給与手当 法定福利費 退職給付費用 福利厚生費			
人件費計			
(2) その他経費 会議費 旅費交通費 施設等評価費用 減価償却費 支払利息			
材料費	134,667		
その他経費計		134,667	
事業費計			
2 管理費 (1) 人件費 役員報酬 給与手当 法定福利費 退職給付費用 福利厚生費			
人件費計			
(2) その他経費 会議費 旅費交通費 施設等評価費用 減価償却費 支払利息 家賃・光熱費 その他経費計	192,531		
		192,531	

管理費計			327,198
經常費用計			2,802
当期經常増減額			
Ⅲ 經常外収益			
1 固定資産売却益			

經常外収益計			
Ⅳ 經常外費用			
1 過年度損益修正損			

經常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			
法人税、住民税及び事業税			2,802
当期正味財産増減額			2,802
前期繰越正味財産額			41,217
次期繰越正味財産額			44,019

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 うすき竹宵

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	44,019		
未収金			
流動資産合計		44,019	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			

有形固定資産合計			
(2)無形固定資産			
ソフトウェア			

無形固定資産合計			
(3)投資その他の資産			
敷金			

投資その他の資産計			
固定資産合計			
資産合計(A)			44,019
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払金			
前受民間助成金			

流動負債合計			
2 固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			

固定負債合計			
負債合計(B)			0
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		41,217	
当期正味財産増加額(減少額)		2,802	
正味財産合計(C)			44,019
負債及び正味財産合計(B) + (C)			44,019

令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 うすき竹宵

(単位 千円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	20,330		
普通預金大分銀行白杵支店	23,689		
未収金 会費 名分			
流動資産合計		44,019	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品			
パソコン1台			
歴史的資料	評価せず		

有形固定資産合計			
(2)無形固定資産			
ソフトウェア			

無形固定資産合計			
(3)投資その他の資産			
敷金			

投資その他の資産計			
固定資産合計			
資産合計(A)			44,019

II 負債の部

 1 流動負債

 短期借入金 銀行 支店

 未集金

 預り金

流動負債合計			
2 固定負債			
長期借入金			

固定負債合計			
負債合計(B)			0
正味財産(A) - (B)			44,019